

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

悩みがあれば相談を

学校では、いじめやトラブルなどの悩みに対し、真摯に対応をしております。また、学校が休みの時や学校に相談しにくい場合などには、次の番号にご相談いただいてもかまいません。子どもや保護者の皆様が悩みを抱えず、話をするのが大切だと考えます。

「24時間子供SOSダイヤル」(通話無料) 0120-0-78310 (なやみいおう)

「子ども的人権110番」(通話無料) 0120-007-110

児童虐待かもと思ったら「児童相談所全国共通ダイヤル」189 (いちはやく)

「自殺予防いのちの電話」(通話無料) 0120-738-556

「佐世保警察署少年係」0956-23-0110

前期の区切り、個人面談の活用を

前期前半（夏休みまで）の成果や課題などを個人面談でお知らせします。質問や意見交換など双方向での交流ができる面談の特長を活かしていただきたいと思っています。前期の一部である夏休みの頑張りが前期の成績向上にもつながることを期待しています。

学校閉庁期間

平日の学校閉庁日や土曜・日曜・祝日を含め、8月10日（土）から18日（日）まで、市立の学校は基本的に職員不在となります。夏の学校省エネ対策や子どもたちのリフレッシュ、家庭でのふれあい、地域活動への参加などを趣旨としていますのでご理解のほどをお願いいたします。事故や事件等緊急な場合は校長又は教頭へご連絡をお願いいたします。

校長（中原）090-2393-6752、教頭（舛田）090-8226-8655

祇園歴史の旅（その43）「天然の良港・佐世保」

佐世保市教育委員会編集・発行 小学生向け歴史副読本『ふるさと歴史めぐり』2016年 第6版（改訂版）から引用。

「私たちのふるさと佐世保市は、現在25万人もの人が暮らす長崎県第2位の都市です。佐世保市が現在のように発展したのは、市の中心部にある佐世保港のおかげとも言えるでしょう。佐世保港は十分な水深があり、俵ヶ浦半島と西彼杵半島が防波堤の役割を果たしているため波が穏やかで、港としては大変恵まれた環境にあります。

明治時代、この天然の良港に注目した海軍が、佐世保に軍港を開いてから目覚ましい発展を遂げ、1902年（明治35）に村から一気に市となったのです。最初の佐世保市は、北は梅田町、南は佐世保駅付近まで、東は烏帽子岳（標高568m）西は弓張岳（標高364m）までの範囲しかありませんでした。当時の面積は約18平方kmです。しかし現在では、合併や編入を重ねて、約24倍の426平方kmになっています。」

今回は、「地名の由来」と題して、佐世保の由来をご紹介します・・・。